

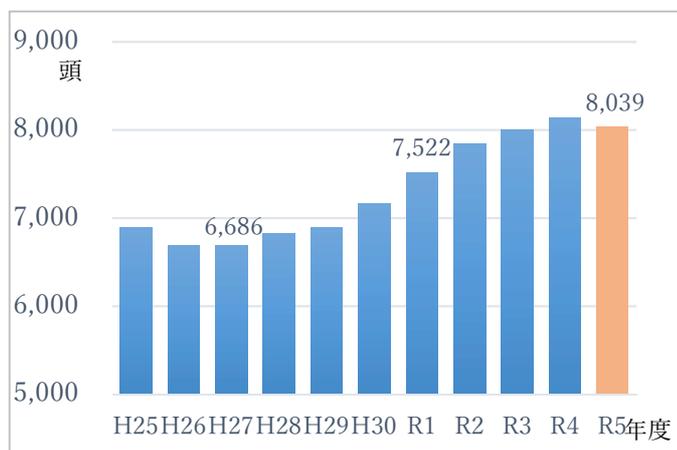
## 「肉用牛生産の拡大」の進捗状況

畜産課

### ○令和5年度末の進捗状況

- (1) 新たに1名が肉用牛生産に自営就農し、今後も12名が就農を希望しています。
- (2) 資材価格の高止まりに加え、子牛価格が全国的に低迷したことで、子牛の生産頭数は約100頭減少しました。また、子牛の取引価格は、全国平均比94%まで下落しました。こうした厳しい経営環境にあっても、意欲ある生産者に対して、8頭の超優秀雌牛県外導入を、157頭の雌牛の更新・増頭を支援し、生産基盤を整備しました。
- (3) 枝肉成績は、上物率・枝肉重量ともに全国平均レベルまで向上し、しまね和牛の改良は着実に進展しています。
- (4) さらに、全国トップの産肉能力を持つ種雄牛「暁之藤」<sup>あきのふじ</sup>を造成し、今後、産子が出荷されることで市場取引価格の向上が期待されます。
- (5) 鹿児島全共での好成績を活かし、しまね和牛の認知度を向上させるため、県内外の飲食店でのメニューフェアや観光事業との連携キャンペーン等を実施しました。その成果の一例として、市町村のふるさと納税返礼品での「しまね和牛」の取り扱いが1.3倍に増加しました。

【子牛生産頭数の推移】



【しまね和牛のPR】



- (6) 島根県の肉用牛生産の特徴である“放牧”を拡大するため、約35haの放牧場の整備を支援しました。

また、県産飼料の生産拡大を推進し、稲WCSと青刈りトウモロコシの栽培面積が、それぞれ115ha、40ha拡大しました。

【青刈りトウモロコシの収穫】

